

防災啓発ツール ガイドブック



監修・発行

名古屋大学減災連携研究センター

自治体研究会 防災啓発グループ

蛭川理紗 鈴木要介 服部孝平 梶川真由

橋本直也 幸節静奈

共同研究：パパママ防災研究会

学校の帰り道、家でお留守番中、教室、公園、スーパーマーケット、海沿いと、各場面での身の守り方、取るべき行動を知ることができます。



作：国崎 信江
絵：福田 岩緒
監修：目黒 公郎
発売：2006年

出版社：ポプラ社

使い方（ポイントなど）

ページの下部にある解説やおうちの人へのコメントも参考にしてください。子供たちへ質問を投げかけてあげても良いかも。

①何歳児クラス向け？

- 年少～年長 ⇒ 内容や状況などのイメージできる年齢、質問のやり取りができる年齢が望ましいと思う。
- 年少～年長 ⇒ 保育園外の避難の仕方が描かれていて理解しやすい
- 年長 ⇒ 内容量が多い

②子どもたちの反応は？また、どのような言葉がありましたか？

「〇〇が危ないよ」「△△が倒れてくる～！」など、状況を把握しイメージしながら具体的に言葉を発していた。「どうしたらいいかな。」と問いかけると「かくれるんだよ。」答えたり、「頭を隠して」動作を試みたりしていた。「ダンゴムシのポーズ知ってるよ」とポーズを見せてくれたり、「家にいる時、テーブルの下にもぐったよ」などの声

③どのような場面で使いましたか？（例：参観日、隙間時間等）

避難訓練を行った日の、午後の時間に読み聞かせた。
学年で落ち着いて見ることでできる給食後や降園前の時間。
帰りの会の時間年少クラスで

④また使いたいと思いますか？

- 買って使いたい ⇒ いろんな場面があって分かりやすいと思う
- 買って使いたい ⇒ 喜んで見ることができたため
- 借りれるなら使いたい ⇒ 定期的に読み返したら意識づけにつながると思う。

⑤気を付けたほうがいいことがありますか？

具体的にイメージができる子にとっては怖くなってしまいかも知れない。
場面が学校の設定だったので疑問に思う子がいたのかもしれない。

⑥ここはGOOD！というオススメポイントを教えてください

全体的に①地震前②地震時の構成で分かりやすい。最後は、家族と合流できて良かった。
保護者にも貸出したい本、『おうちの方へ』の記述があり、大人も学べる。
各ページごと避難時の注意事項が記載されている

⑦保護者の方の使いやすさは？

使いやすいと思われる。
家庭での危険な場所を確認するきっかけになると思う。
家庭と絵本で同じ場所があった場合、親子で「こうしよう」と話すことのできる機会が作れると思う。

⑧こういう活動と組み合わせると、より内容が伝わりやすい！というものがあれば教えてください。

避難訓練の前後に組み合わせるとよいと思う。

保護者の方も見ることで、園と避難の仕方の共有ができるとともに、家庭での避難の仕方等様々な場面での避難の参考になると思う

仕掛け絵本で、〇〇していたら・・・さあ、どうしよう、と言ってページを開くと答えが出てきます。様々なシチュエーションでの行動を知ることができます。



作：国崎 信江

絵：Meg

発売：2018年

出版社：東京書店

使い方（ポイントなど）

〇〇のときは、どうする？と問いかけながら使ってみてください。

①何歳児クラス向け？

- 年少 ⇒ 2歳児の2学期後半時期であると、仕掛け絵本であり絵もかわいいため興味を持ってみることができる。
- 年少～年中 ⇒ 絵も文もわかりやすい。
- 年少～年長 ⇒ 避難訓練の事が理解できて、絵を見て分かりやすいため

②子どもたちの反応は？また、どのような言葉がありましたか？

表紙の絵に興味を持ち最後まで見ていた。

絵が可愛いし、動物の姿に例えていて親しみやすい。いろんな場面に対して毎回子どもは「頭を守る」と言っていた。絵本の中の質問に「机の下に隠れる！」「外へ逃げる！」など、避難方法を話していた。

③どのような場面で使いましたか？（例：参観日、隙間時間等）

隙間時間 災害は突然起こることを知らせ、常に意識する必要があると思うため。

地震の避難訓練を兼ねて利用

帰りの会の時間年少クラスで

④また使いたいと思いますか？

- 買って使いたい ⇒ 絵が可愛く、興味を持ってくれるため、言葉で伝えるよりも視覚で伝えることができるため
- 買って使いたい ⇒ 普段の保育の場面以外での避難について考えられるよい機会となると思ったため。
- その他 ⇒ 園生活より家庭での話かと思う。

⑤気を付けたほうがいいことがありますか？

ただ絵本を楽しむだけでなく、危険なことを自分で見つけられるようにしてほしい。

絵本を並べ踏んでいくページがあり、2歳児、3歳児では、本を踏んでもいいのではないかとあそびで行ってしまいそう

⑥ここはGOOD！というオススメポイントを教えてください

だんごむしになるところや頭を守る場所。子どもがやりやすいポーズ。

絵がかわいいので低年齢でも親しみやすい。

身の守り方を簡単に伝えてくれるため、3歳児も考えやすく、絵を真似する姿があった。

⑦保護者の方の使いやすさは？

いろいろな場面での地震の事が書いてあるのでわかりやすい。

使いやすいと思う。具体的にどう行動したらよいか分かりやすい。

⑧こういう活動と組み合わせると、より内容が伝わりやすい！というものがあれば教えてください。

地震の避難訓練の前に読む。

保護者の方も見ることで、園と避難の仕方の共有ができるとともに、家庭での避難の仕方等様々な場面での避難の参考になると思う

ある日、ガタガタ村の村長さんが、大ナマズどんがやってくる。と言います。村の動物たちは各々備えをしますが、キツネさんだけは何も備えません・・・動物たちを題材にした備えることを考えるお話です。



作：山王三・四丁目自治会

絵：寺田 順三

発売：2012年

出版社：Z会

使い方（ポイントなど）

地震＝大ナマズというたとえが理解できるかどうかポイントです。先生方が軽く「ナマズ」についてお話ししてもらうと良いかもしれません。

①何歳児クラス向け？

- 年少～年中 ⇒ 絵が可愛く興味が持てる。大ナマズが理解できる。
- 年少～年中 ⇒ イラストが可愛らしく、分かりやすくイメージしやすい。
- 年中 ⇒ 年少では内容が難しい。年中児では内容はわかる。

②子どもたちの反応は？また、どのような言葉がありましたか？

真剣な表情で、集中して見ていた。内容に興味を持っていた。
大ナマズが来る前は笑顔で見ていたが登場すると真剣な表情になった。
家がなくなった大切な仲間の安否を心配したり、ナマズが怖いと言っていた。

③どのような場面で使いましたか？（例：参観日、隙間時間等）

避難訓練の話の際：避難訓練が必要なことを知らせるため。
外に行く前の全体で話をする時間、帰りの会の時間
隙間時間

④また使いたいと思いますか？

- 買って使いたい ⇒ 年中児にも地震のことが分かりやすかったから。
- 買って使いたい ⇒ 災害の絵本が園にないから。
- 借りられるなら使いたい ⇒ 子どもが興味を持ってくれ、楽しく学ぶことができたのでまた使用したいが、買うには値段が高い。

⑤気を付けたほうがいいことがありますか？

小さい子の中には大ナマズを理解できない、地震の話だと理解できない子もいる。

⑥ここはGOOD！というオススメポイントを教えてください

絵が可愛かったため、楽しそうに見ることができていた。
絵が可愛いくて見やすい。
分かりやすい絵柄だと子どもたちも見やすいように伝わりやすい。

⑦保護者の方の使いやすさは？

子どもが想像しながら見ていたので読みやすかった。絵も見やすく字の大きさもちょうどいい。
本のサイズが大きいので、貸出用では使いにくい。

⑧こういう活動と組み合わせると、より内容が伝わりやすい！というものがあれば教えてください。

ナマズ号を体験する時に読むと大ナマズがわかりやすい。
地震の避難訓練の前後に読むと良い。

東日本大震災で津波に流されて多くの人や動物が亡くなりました。犬のチョビは、生き残ったたえちゃんのところに行きますが、チョビの声は届きません。東日本大震災で人だけでなく動物も亡くなったというのを伝える内容です。



作・絵：うさ

発売：2014年

出版社：くもん出版

使い方（ポイントなど）

園児にとって死、お別れということがどれだけ実感できているかで、伝わり方が変わると思います。棺桶なども出てくるので、園児に理解が難しいシーンもあるかもしれません。また悲しいお話なので、心のアフターケアが必要になるかもしれません。

①何歳児クラス向け？

- 年中～年長 → 人の気持ちや地震の影響を知るきっかけになる。
- 年長 → 命の大切さがわかるから。内容や状況などのイメージができる年齢だから。
- 小学生以上 → 実際の震災の話なので分かりやすいが長いため、集中して最後まで聞くのは幼児には難しい。

②子どもたちの反応は？また、どのような言葉がありましたか？

本当にあった話だよと伝えてから読んだこともあり、静かに聞いていた。「死んじゃったの？」ともう一度見返す子もいた。女の子は涙目になったり、悲しくて顔を手で覆っている子もいた。中にはあっけらかんとしていることもいた。自分と重ねて、母がいなくなったら悲しいと泣いている子もいた。イメージができない子もいた。

③どのような場面で使いましたか？（例：参観日、隙間時間等）

地震の避難訓練の前：地震の恐ろしさを知り、防災意識が高まるように。

給食後：子どもたちが落ち着いて話を聞ける。

職員が読んで内容を伝えるために使い、職員から伝えたいことを子どもに話して伝えるための教材にした。

④また使いたいですか？

- 買って使いたい → 命の大切さ、地震や津波がどのようなものでどのように恐ろしいのか知らせる機会を作りたい。
- 買って使いたい → 使用したいが、もう少し人や動物の命の大切さ、儚さが理解できた上で使用していきたい。
- 借りられるなら使いたい → 年度初めに職員への啓発活動として使用できると良い。

⑤気を付けたほうがいいことがありますか？

本当の話だということを伝えると真剣さが増す。ただ、死について恐怖心を持つ子もいる。

地震が起きるとどんな危険なことが起き、危険であるのか？どんな対策をすべきなのか？話をした後、内容が理解しやすいのではないと思う。

⑥ここはGOOD！というオススメポイントを教えてください

子どもたちだけでなく、保育士も経験したことがない地震や津波についての怖さを知ることができる。

津波はどんな状況になるのか、だからどのように逃げなくてはいけないのかなど知識と避難方法を学ぶことができる。また被害にあったその後を知ることができる。

震災で生じたことを絵本を読むことで知ることができ、それを子どもに伝えていけるところが良い。

⑦保護者の方の使いやすさは？

家庭で保護者に分かりやすく解説を入れながら見ることでより内容が分かり、イメージも膨らむと思う。

文章の長さや内容への理解が難しいため、幼児向けには難しい。

⑧こういう活動と組み合わせると、より内容が伝わりやすい！というものがあれば教えてください。

起震車体験など実際に地震を体感できる経験をした上で読むとより理解しやすいのではないかと。

津波の避難訓練や津波の話をした後、理解が深まるのではないかと。

保育園での地震の訓練や津波避難訓練で指摘され、はなちゃんは、はやあるきすることを練習し始めます最終的には本当の津波からはやあるきで助かります。前向きな内容です。



作：宇部 京子

絵：菅野 博子

発売：2015年

出版社：岩崎書店

使い方（ポイントなど）

災害時の取るべき行動をポジティブに実践している内容で、絵本を読んだ後で、お外遊びから教室に戻るときなど、はやあるきを実践してみても良いかもしれません。津波が想定される園での使用が効果的。

①何歳児クラス向け？

- 年少～年長 ⇒ 早歩きの意味が分かる。
- 年中～年長 ⇒ 津波の話もあり、年少には少し難しいと感じた。
- 年長 ⇒ 避難訓練の話から始まっているので、親しみやすいかと思った。

②子どもたちの反応は？また、どのような言葉がありましたか？

避難する時に「早歩き」の意味が分かった。東日本大震災後に生まれているため、津波が何か知らない子が多かったが、分かった。日頃の読み聞かせより集中して聞いていた。「こわいね」「かわいそう」という声があった。静かに真剣に見ていた。「津波ってわかる？」と聞いたところ「知ってる」という声もあった。

③どのような場面で使いましたか？（例：参観日、隙間時間等）

降園前の時間：避難訓練の導入として毎日読み聞かせた。子どもから読んでほしいという声もあった。
帰りの会の時間：落ち着いて話を聞ける時間帯のため。
外に行く前の全体で話をする時間

④また使いたいと思いますか？

- 買って使いたい ⇒ 年中年長児向けに。自分の身は自分で守ることが書いてあるため。
- 買って使いたい ⇒ 避難方法や津波のことが描かれているので、実際に日本で起きた災害について伝えやすい。

⑤気を付けたほうがいいことがありますか？

読む前に内容を理解しておくこと。写真や映像を事前に見せて津波について知らせておく。
最後には、災害は怖いけれど「訓練すれば大丈夫」という安心感を持たせる。

⑥ここはGOOD！というオススメポイントを教えてください

絵本の初めに避難訓練をしている場面があるので、子どもたちにも馴染みやすい。
普段は伝える機会がない「つなみてんでんこ」の大切さや意味を伝えることができる。
主人公の表情の変化が大きく描かれていて、子どもに気持ちが伝わりやすい。

⑦保護者の方の使いやすさは？

「はやあるき」が何度も出てきて読むだけで伝わる。
保護者は内容よりも表紙の絵を見て絵本選びをするので、初めにすぐに手に取るものではないかも。

⑧こういう活動と組み合わせると、より内容が伝わりやすい！というものがあれば教えてください。

避難訓練の時に合わせて読みたい。
3月11日の時に読みたい。

東日本大震災後に、亡くなった人へ思いを伝える「風の電話ボックス」が設置されたことを題材にしたお話です。悲しいお話です。



作・絵：いもと ようこ

発売：2014年

出版社：金の星社

使い方（ポイントなど）

園児にとって死のお話は実感しにくいかもしれません。災害がどんなものかを、先生がフォローして教えてあげる必要があるかもしれません。また、大切な人を失う状況は園児でなく、保護者の方の心に響くと思います。

①何歳児クラス向け？

- 年中～年長 ⇒ 年中児くらいからイメージでき、内容が理解できる。
- 年長 ⇒ 会えない人は亡くなった人であることの理解が難しい。
- 年長 ⇒ 「死」を理解できる年であり、物語の長さも年長以上に適している。

②子どもたちの反応は？また、どのような言葉がありましたか？

身内や犬が死んでしまったことなど経験したことのある子は、死をなんとなくわかっている様子。

「悲しい話だね」「僕のおばあちゃん死んじゃったよ」などの声。

静かに見ていた。身近にあまり経験しないことなので「え！死んじゃったってこと？」と驚いている子もいた。

③どのような場面で使いましたか？（例：参観日、隙間時間等）

学年別の集会の時
給食後の休息の時間
地震の避難訓練の前

④また使いたいですか？

使いたくない ⇒ 背景を話していないこともあるが、内容が分かっていなかった。難しいと思う。

⑤気を付けたほうがいいことがありますか？

事前に大人が内容を理解し、子どもたちの反応に合わせて説明が必要。

内容が、心の沈むものだった。子どもたちへの説明の工夫がいる。

死んでしまうことを理解することは難しいため、災害の恐ろしさを伝え、避難訓練の大切さを知ることができると良い。

⑥ここはGOOD！というオススメポイントを教えてください

「死」という言葉は出てこない柔らかな内容や挿絵…子どもたちが怖がることなく見る事ができた。
絵が可愛く親しみやすい。文章の長さが丁度良く読みやすい。

⑦保護者の方の使いやすさは？

内容を理解できれば、使いやすい。

⑧こういう活動と組み合わせると、より内容が伝わりやすい！というものがあれば教えてください。

保護者にも読んでいただき、大地震によって大切な人を失った悲しみを感じ、いつ起きてもおかしくない地震に向けて防災意識を高めることができると良い。

災害の話（DVDや紙芝居）を見た後なら、少しは理解できると思う。

地震や津波、風水害等、6つのテーマで、モノと行動の両面から子供たち自身が、身の周りにある危険を発見します。先生が進行させながら行い、可能なら子供たちでの話し合いを行います。



企画・制作：日本赤十字社、
プラスアーツ

発売：2018年

使い方（ポイントなど）

説明書を参考にしてください。
進行中は先生がヒントを出しながら進めるなどすると良いでしょう。

①何歳児クラス向け？

- 年少 ⇒ 正解を見せて、園内での危険箇所、を知らせていく。
- 年中～年長 ⇒ 4、5歳児はクイズ形式にて話していく
- 年長 ⇒ 内容が興味に合っているためクイズ形式にしたり、気づいたことを話し合ったりする。

②子どもたちの反応は？また、どのような言葉がありましたか？

絵が見やすく、人物に番号が付いているため、挙手してすぐに答えようとしていた。

「〇〇が落ちてくるから危ない」「先生の話を見かずに、あの子勝手に部屋から出ていこうとしてる」など様々反応があった。

③どのような場面で使いましたか？（例：参観日、隙間時間等）

- ・絵が大きく大人数でも見やすいため、学年で活動しているとき。
- ・自由遊びのとき
- ・子どもたちが全員そろっている日々の保育時間内

④また使いたいですか？

常時部屋に貼っておくと、いつでも見て確認でき、防災意識が高まると思う。

手引きを見ながら危険なところを探すことで、客観的に考えることができるため買って使いたい。

子どもたちが防災について知る機会になるので、借りられるな使用したい。

⑤気を付けたほうが良いことがありますか？

こちらの伝えたい内容をより詳しく伝えるため、手引きをよく読んでから子どもたちへ投げかける。

子どもたちの年齢や発達によって保育士が仲介する必要がある。

⑥ここはGOOD！というオススメポイントを教えてください

自ら見つけ、考えることで、防災意識が高まると思う。

身のまわりの危険探しは、子どもたち自身が見つけ理由も考えることができる。

用紙が大きいので大勢でも見やすい。手引きが見やすい。

⑦保護者の方の使いやすさは？

絵本サイズなら良いが、家庭だと大きすぎるので使い辛い。

⑧こういう活動と組み合わせると、より内容が伝わりやすい！というものがあれば教えてください。

避難訓練時、想定に並行しているところをシートを通して視覚で伝えることができ、理解しやすいと思う。

避難訓練の前後に見るといい。災害の後にも教訓になる。

災害の内容をテーマにしたカルタです。震災バージョンと水害バージョンの2種類あります。ただし、どちらも幼児には内容が少し難しいと思います。



出版社：日興美術

発売：2018年

使い方（ポイントなど）

読み札に漢字（ふりがな付き）が含まれており難しいため、先生が読み手となっていただくとよいかもしれません。場合により、こういうことだよ、と内容を補足しながら行くと良いでしょう。

①何歳児クラス向け？

- 年少～年中 ⇒ ひらがなが読めないと理解できない。
- 年中～年長 ⇒ 4、5歳児と一緒に話をしながら楽しんで遊んでいる姿があった。
- 年長 ⇒ 読み札の意味を理解して楽しむには、年長以下では、難しい。
- 小学生～ ⇒ 年中児でやったが内容が難しく、分からなかった。

②子どもたちの反応は？また、どのような言葉がありましたか？

机の上にカードを並べる時絵を見ながら「これは何だろう？」など話しながら並べていた。ふりがながあるため漢字に興味のある年長児は喜んで遊んでいた。聞いたことのある単語に反応していた。普段あまり見たり、聞いたりしたことのない絵や言葉に興味・関心をもっていた。

③どのような場面で使いましたか？（例：参観日、隙間時間等）

30人以上のクラスのため一斉では難しく、少人数で楽しめるように室内あそびの1つのコーナーとした。楽しんで取り組めるので自由遊び中。興味を持った子から取り組めるよう、また落ち着いて楽しめるため自由遊びのとき。

④また使いたいですか？

借りられるなら使いたい。絵や説明の意味を伝えながらやりたい。内容が難しく、園児向けではないと思うので使わない。繰り返し遊ぶ中で、楽しみながら災害について学べるため、借りられるなら使いたい。

⑤気を付けたほうがいいことがありますか？

読み札の内容を理解させるために読み終えた後やカードを取った後に内容の確認をすると良いと思う。年齢が低いので自分で気を付けることが難しいものもある。札の角がとがっているの、ケガをしないように気を付ける。

⑥ここはGOOD！というオススメポイントを教えてください

絵が分かりやすく、見やすい点。普段のカルタ遊びのルールだけでなく、危険度によって点数を決める遊びのルールもあり、より発展した遊びが楽しめる。危険が色分けされているため「赤色のやつだよ」などとヒントが出しやすい。難しい内容が多いが、知っていることがあると嬉しくなるようだった。言葉での説明は幼児には難しいので、かるた取りで遊ぶ。室内で学べる。色や絵で、視界から入る。

⑦保護者の方の使いやすさは？

内容が子どもに分かりにくいので、保護者も使いにくいと思う。保護者自身が知らないこともあり、家庭内だけでは難しいと思うので、保育参加等で一緒に行う中でなら使える。

⑧こういう活動と組み合わせると、より内容が伝わりやすい！というものがあれば教えてください。

地震の避難訓練の前に使用するとよい。震災について説明するとき。

子供向け教育番組のような内容のDVDです。地震や津波に関する知識が楽しく身につきます。



監修 : 国崎信江
発売 : 2012年
発売元: ビクターエンタ
テイメント

使い方（ポイントなど）

全体で30分程度ですが、短いパートに分かれていますので、必要に応じ視聴してください。
「もしものときのうた」や「ぐらぐらどーん」は覚えられたら覚えて歌ってみてください。

①何歳児クラス向け？

年中 ⇒ 話の内容が理解

②子どもたちの反応は？また、どのような言葉がありましたか？

キャラクターが登場し、イラストや簡単な言葉で分かりやすい内容だったため、興味津々で集中して観ていた。

③どのような場面で使いましたか？（例：参観日、隙間時間等）

保育中。

④また使いたいと思いますか？

園以外の危険な事や危険な場所を知れる良い機会になるため、借りられるなら使いたい。

⑤気を付けたほうがいいことがありますか？

特になし。

⑥ここはGOOD！というオススメポイントを教えてください

キャラクターが登場したり音楽に合わせてたりして見やすいと思う点。

音楽に合わせて、もしもの時の事を自然に覚えられるようになっている点。

子どもたちが真剣に見ていた点。

⑦保護者の方の使いやすさは？

外国籍の方でも日本語がわからなくても映像を見て楽しめるため、わかえいやすいと思う。

⑧こういう活動と組み合わせると、より内容が伝わりやすい！というものがあれば教えてください。

子供向け教育番組のような内容のDVDです。
風水害や雷などに関する知識が楽しく身につきます。



監修 : 国崎信江
発売 : 2012年
発売元: ビクターエンタ
テイメント

使い方（ポイントなど）

全体で30分程度ですが、短いパートに分かれていますので、必要に応じ視聴してください。
「もしものときのうた」や「びゅうびゅうざざー」は覚えられたら覚えて歌ってみてください。

①何歳児クラス向け？

年中～年長 ⇒ 登場人物が人形で分かりやすいが、内容理解は、年中以上だと思う。
後半は難しく年少児は集中が続かなかった。

②子どもたちの反応は？また、どのような言葉がありましたか？

イラストでわかりやすく、「水がいっぱいだね」「人が飛んじゃったね」「怖いね」と思ったことを話していた。
動きがあってわかりやすかったため、真剣に観ていた。

③どのような場面で使いましたか？（例：参観日、隙間時間等）

子どもの気持ちが落ち着くため、午後の活動時間や学年別の活動時間。
避難訓練を行った日の午後の時間に、計画的に鑑賞した。

④また使いたいと思いますか？

題材が身近だが、ほかの教材がなくうまく伝えられないので、DVDはありがたいので借りられるなら使いたい。
値段が手ごろなら購入を検討するが、借りられるなら使いたい。

⑤気を付けたほうがいいことがありますか？

アニメだと平面的でわかりにくいように思われたため、保育士が実際に動いて見せるとよいと感じた。
（「雪の日のペンギン歩き」など）

⑥ここはGOOD！というオススメポイントを教えてください

人形劇で親しみやすい点。項目ごとに分かれている点。飽きずに楽しめた点。理解しやすい点。
一緒に緊急時の対応を確認できる点。

1回見たが内容が豊富であるので、さらに繰り返し見て、確認したりすると有効かと感じた。

⑦保護者の方の使いやすさは？

DVDで扱いやすいため家庭でも活用しやすいと思う。

⑧こういう活動と組み合わせると、より内容が伝わりやすい！というものがあれば教えてください。

知ることができ、次に行動してみる機会があったほうが良いため避難訓練と組み合わせる。

いつもみんなのまねをしながら飛び回っているまねっこ鳥は、あるとき嵐が来ることを伝えようとしますが、聞き入れられません。嵐でかあさんぐまを失ってしまったくまたちは、かあさんぐまのこもりうたを思い出しますが・・・



作・絵：いもと ようこ
発売：2014年
出版社：金の星社

使い方（ポイントなど）

園児にとって死のお話は、フォローが必要かもしれません。大切な人を失うことを考えることがポイントとなります。

①何歳児クラス向け？

年長 ⇒ 内容が難しく考えさせられる。話の意図や意味を理解できる年齢で使うのがよい。

②子どもたちの反応は？また、どのような言葉がありましたか？

「悲しいね。」と言っていた。くまだけでなく、同じように人も亡くなるのだと感じていた。こもりうたの場面であたたかい気持ちになっていた。表紙の「かあさんの」の文字が半分消えかけている事を気にしていた。

③どのような場面で使いましたか？（例：参観日、隙間時間等）

寝る前の時間（保育士が家庭で自分の子に読んだ）

降園前の時間

日中の隙間時間

④また使いたいですか？

買って使いたい ⇒ こういう話があるということを伝えられるから。
⇒ 「死」という話に触れる事ができ、心があたたまる話なので使いたい。
子ども自身も読みやすい。読み聞かせも行いやすい。

⑤気を付けたほうがいいことがありますか？

日頃、保育の中であまり取り入れない内容なので、保育士自身も慣れていないため、読む前に内容を理解しておく。

読み手に感情が入りやすくなってしまい、言葉に詰まりやすい。

⑥ここはGOOD！というオススメポイントを教えてください

みんなのうたをうたう所。みんなのことが大好きなことがわかる。

こもりうたの続きの歌詞。大人もぐっと悲しくなり、感動する。

⑦保護者の方の使いやすさは？

読む子どもの年齢や環境を考えさせられる。母親が死んでしまうので子どもにどんな影響があるか心配。表紙のくまの兄弟の絵が可愛らしく、手に取りやすい。親子の絆を深める事ができる為。

⑧こういう活動と組み合わせると、より内容が伝わりやすい！というものがあれば教えてください。

東日本大震災での機関車の活躍を描いたお話です。機関車の走る音や擬音が多く、臨場感ある作品です。詳細な記述も多く、少し難しいかもしれません。



作：すとう あさえ
絵：鈴木 まもる
発売：2013年
出版社：童心社

使い方（ポイントなど）

機関車の好きな男の子には受けるかもしれませんが、少し長く飽きてしまうかもしれません。子供の取るべき行動が分かるものではないですが、災害後は停電になったり燃料が不足したりする、ということを伝えてあげると、なぜ頑張っているのか伝わるとと思います。

①何歳児クラス向け？

- ⇒ イラストはわかりやすいが、子どもたちの知らない地名がたくさん出てくる。
- ⇒ 表紙の絵は興味を持つが、内容が難しく伝わりづらい。
- ⇒ 地名、内容など難しく、読むのも大変だった。
- ⇒ 年中児に読んだが、内容が難しかった。
- ⇒ 3、4歳児には文字が多く、難しい表現もあり、内容が伝わりにくい。

②子どもたちの反応は？また、どのような言葉がありましたか？

機関車に興味を持っている子もいれば、あまり興味がなくごそごそしだす子もいた。

「機関車ってすごいね」「雪でも動くんだ」と驚いていた。燃料を運ぶ機関車に驚いていた。

ディーゼル機関車の走る音を真似していた。シューシュワッ、グォグォグォガー等の擬音を楽しんでいた。

ディーゼル機関車に興味を持っていた。「なんで燃料を運ぶの？」「地面が割れて、波がきて人も家も流されたの？」と驚きつつ、とても興味深く聞くことが出来た。

③どのような場面で使いましたか？（例：参観日、隙間時間等）

地震の避難訓練前・給食後の落ち着いた時間・降園前の保護者を待つ時間・帰りの会・延長保育時

④また使いたいと思いますか？

借りれるなら使いたい ⇒ 東日本大震災についてもう一度、何が起きていたのか理解した上で読みたい。忘れてはいけないことで、読み続けたい。震災の話は難しいが、汽車の絵や、擬音を楽しんでいた。

使いたくない ⇒ 子どもにとって内容が身近にイメージしにくい。

⑤気を付けたほうがいいことがありますか？

話の内容が長く難しいので、事前に読んで、伝え方や言葉の言い換えを考えておく。補足説明がある。

⑥ここはGOOD！というオススメポイントを教えてください

地震後に活躍したディーゼル機関車や運転士、整備士が描かれている。

ディーゼル機関車の種類が描かれている。あまり知られていないことが描かれている。

機関車に名前がある。名前があることで子ども達の頭に入りやすい。

⑦保護者の方の使いやすさは？

大人でも様々なことを知ることができ、使いやすい。

⑧こういう活動と組み合わせると、より内容が伝わりやすい！というものがあれば教えてください。

日本地図や日本の文化に親しみを持てるような活動を取り入れながら読み聞かせをした方が、分かりやすいのではないかと感じた。「デーデ」のほかにも乗り物に名前を付けて遊ぶ。

地震や火事の避難訓練、災害時や身近な危険の際にどうするのが学べるかみしばい8点です。内容は平易で短いものです。



発売：2011

出版社：教育画劇

使い方（ポイントなど）

避難訓練などの際、事前に読んでも良いかもしれません。

①何歳児クラス向け？

- 年少
- ⇒ 内容も長さも丁度よい。集中してみることができる。
 - ⇒ 内容は丁度よいが、短く感じた。（2歳児後半から3歳児前半ぐらいが良い）
 - ⇒ 絵が大きくてカラフルでよい。繰り返しが多い。

②子どもたちの反応は？また、どのような言葉がありましたか？

絵が可愛く子どもたちが興味を持っていた。「もう一度見たい」という声があった。とても集中していた。途中の問いかけなどには、元気に答えていた。自ら知っていることを言葉で自信ありげに発信している子もいた。

「あたまかくすよ」「ダンゴムシのポーズ」と小さくなっていた。

③どのような場面で使いましたか？（例：参観日、隙間時間等）

避難訓練の前日・給食後・隙間時間・午睡前・おやつの前・降園前

④また使いたいと思いますか？

- 買って使いたい ⇒ 内容がわかりやすく、子どもも興味を持っていた。
- 借りれるなら使いたい ⇒ 火事の内容であれば火事の避難訓練の時、豪雨の話は雨の多い時期に読めるとよい。

⑤気を付けたほうがいいことがありますか？

火事で煙を吸わないようにしゃがんで逃げる場面で、保育園では戸外へすぐ避難できるため、なぜしゃがむのか詳しく伝え、園での違いを知らせるべきであると思う。

「できるかな？かじのひなんくんれん」は約束が否定的だったので、説明する時、肯定的な言い方にして伝えた。

⑥ここはGOOD！というオススメポイントを教えてください

視覚で理解しやすいため、興味を持ちやすい。実際の避難訓練と同じ訓練の仕方がでてくる。内容と出てくるキャラクターがよい。

地震の時の頭の守り方をダンゴムシポーズと面白く描かれていた。わかりやすい例えもあり、子どもたちも楽しみながら真似をしたり、考えたりすることができた。

動物のイラストは興味を持ちやすい。

⑦保護者の方の使いやすさは？

子どもと家庭で見るのなら紙芝居より絵本のほうが使いやすい。

⑧こういう活動と組み合わせると、より内容が伝わりやすい！というものがあれば教えてください。

避難訓練の前後・台風シーズン

災害の絵を見せて、取るべき行動のポーズをとる、体を使って楽しむゲームです。カードは12種類あり、地震、津波、洪水などのほか、日常の危険を題材にしたものもあります。使用方法のDVD付き。



製作：日本損害保険協会
発売：2005年

使い方（ポイントなど）

事前にこの災害の場合はこのポーズ、というのを練習します。覚えられたらカードをランダムに見せ、子供たちがポーズをとります。種類が多いと難しいので、数枚に絞ってやると良いでしょう。また、それぞれのカードで掛け声を決めてやると盛り上がります。

①何歳児クラス向け？

- 年中～年長 ⇒ 初めてやるゲームだったが、遊び方が分かりやすかった。
年長 ⇒ カードゲームの為、ルールを理解でき楽しめる年齢を対象にした。

②子どもたちの反応は？また、どのような言葉がありましたか？

ひらがなを読んでいた。
保育士が説明していると「遊びたい」と言っていた。

③どのような場面で使いましたか？（例：参観日、隙間時間等）

自由遊び

④また使いたいと思いますか？

- 買って使いたい ⇒ カードの大きさも丁度よく、絵もわかりやすい。
借りれるなら使いたい ⇒ 今回は5歳児が使用したが、他の学年も遊べそう。

⑤気を付けたほうがいいことがありますか？

イラストの説明が必要。

⑥ここはGOOD！というオススメポイントを教えてください

イラストが可愛く、カードの大きさが丁度良い。
災害以外にも、挨拶や日常生活に必要なやり取りのカードもあり、難しいものだけでなく、簡単な物もあったので、楽しく取り組む事ができた。
遊びの中で自然と身につき、災害のことを覚えられる。

⑦保護者の方の使いやすさは？

親子1対1でも楽しめる内容だと思った。

⑧こういう活動と組み合わせると、より内容が伝わりやすい！というものがあれば教えてください。